

地域がん登録室における安全管理措置の現状 —— 優先対策項目の実施状況調査から

西野 善一 副理事長

金沢医科大学医学部公衆衛生学講座



今年1月に施行された「がん登録推進法」の第25条で、国、国立がん研究センター、都道府県およびこれらから委託を受けた者は全国がん登録業務にかかわる情報の安全管理措置(漏えい、滅失、毀損の防止その他の適切な管理のために必要な措置)を講じなければならないとされているのはご承知かと思えます。地域がん登録全国協議会ではこれまで2005年の「地域がん登録における機密保持に関するガイドライン」の公表や都道府県がん登録室の安全管理措置状況を現地調査により評価するがん登録安全管理措置モニタリングの実施などを通じて適切な安全管理措置の浸透に努めてきました。今回、都道府県がん登録室を対象に安全管理措置に関する優先対策(ミニマムベースライン)項目の実施状況調査を行いましたので結果をご報告します。

この調査は厚生労働省研究班が2010年度より毎年実施していたものを引き継いだもので、同研究班が「地域がん登録における安全管理措置ハンドブック第2版」で定めている32の優先対策項目の達成状況につき昨年8月に各登録室に対し回答を依頼したものです。32項目は1) 規程類の整備や教育の実施等に関する8項目、2) 登録室の入退室、施錠管理や個人情報の保管状況等に関する9項目、3) 登録システムの識別、認証機能、バックアップ等に関する6項目、4) 移送、廃棄に関する9項目で構成されています。前回と同様に

今回も47都道府県全ての登録室から回答を得ることができました。各登録室のご協力に対しこの場をお借りして御礼申し上げます。

各登録室の前回と今回の達成状況を比較すると、全項目達成の登録室は前回の22(46.8%)から27(57.4%)へと増加しています。1項目未達成の登録室は11から6に減る一方で2項目以上未達成の登録室数は14と変わらず達成状況は二極化する傾向をみせています。未達成の登録室が多い優先対策項目は表の通りであり、要領、マニュアル、個人データ取扱台帳、事故時対応手順といった規程類や従事者リスト、個人情報を持つ可搬媒体リストの整備について未達成と回答した登録を比較的多く認めます。

この結果からは、現状の都道府県がん登録室においては個人情報を保護するための物理的、技術的な対策はとられている一方で、従事者が登録室の安全管理措置について共通の認識を持ち、新たな従事者に継承していくため、外部から登録室が実施している安全管理措置がわかるようにするために必要な文書化、リスト化の対応が不十分な登録があることがわかります。今後は未達成項目について具体的な未達成の内容や理由を把握した上で調査結果を都道府県がん登録室の安全管理措置進展に生かしていく予定です。

未達成の登録室が多い優先対策項目	数
個人データの漏えいなど(漏えい、滅失または毀損)の事故が発生した際の事故時対応手順について、以下の項目を含めて定めていますか? 1) 発見者から管理責任者への報告、2) 管理責任者から主管課長への報告、3) 報告先の連絡方法(休日・夜間、連絡がつかない場合の対応を含む)、4) 事実確認、原因究明、漏洩停止措置、5) 影響範囲の特定、6) 再発防止策の検討・実施、7) 不正アクセス行為の禁止等に関する法律等の法令に定めるところによる対処	11
個人データの取扱い状況を一覧できる手段として、個人データ取扱台帳について、以下の項目を含めて定めていますか? 1) 個人データの種類・項目・範囲、2) 利用目的、3) 保管場所・方法・期限、4) アクセス権限を有する者	9
地域がん登録事業における個人データの保護および管理に関する要領について、以下の項目を含めて定めていますか? 1) 秘密の保持(守秘義務と患者等への接触禁止)、2) 情報の収集・出張採録、3) 入力、4) 保管・バックアップ、5) 消去・廃棄、6) 医療機関への問い合わせ、7) 登録室の管理	8
個人データの取扱いに関するマニュアルについて、以下の項目を含めて定めていますか? 1) 入退室管理、2) 取得、3) 入力、4) 利用・加工、5) 保管・消去・廃棄、6) バックアップ、7) システム管理、8) 地域がん登録室からの医療機関への問い合わせ、9) 外部からの問い合わせ対応、10) 出張採録、11) 移送	8
USB等の可搬媒体に個人データを保存し保管している場合、保管対象の媒体についてはリスト化して管理していますか?	6
地域がん登録室の中央登録室業務に従事する者について、それぞれの作業分担と処理してよい情報の範囲を明記したリストが作成され、最新化されていますか?	5